

MEIJI MURA

明治村だより Vol.75 2014 Spring



鈴木博之館長 逝去

平成22年4月から博物館明治村館長をお務めいただいた鈴木博之館長が平成26年2月3日逝去されました。

日本を代表する建築史家でもあられた鈴木館長は、平成7年に財団法人明治村の評議員、理事、常任理事を経て、平成22年4月に副理事長・博物館長に就任されました。

博物館明治村では、近代建築の保存・復原活動のみならず、歴史的・文化的価値の普及活動などに尽力されました。また、近代建築の保存に取り組む国際組織「DOCOMOMO」の日本支部代表や建築史学会会長などを歴任されました。平成7年には紫綬褒章を受章。

博物館明治村では、連続講座「明治塾」でコーディネーターをお務めいただくなど、貢献いただきました。



平成22年4月 館長就任記念シンポジウム



平成23年6月 明治塾



表紙写真／
新緑の聖ヨハネ教会堂
〈撮影〉玉置良宗

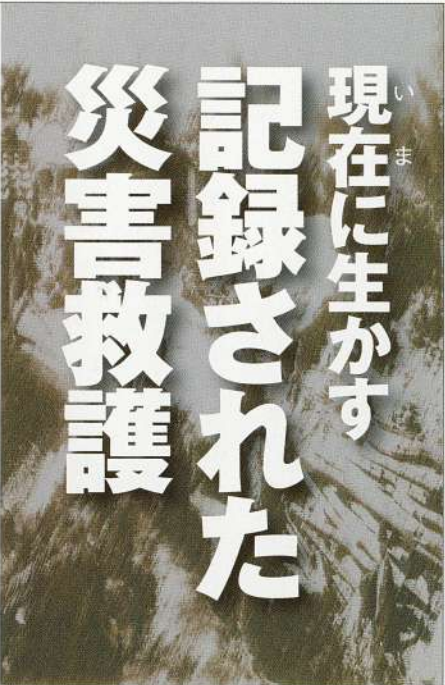
平成26年3月14日発行
「明治村だより」第75号(平成26年春)
発行 博物館明治村
〒484-0000 愛知県犬山市内山一番地
電話(0568)67-0314
<http://www.meijimura.com>
製作 株式会社DNP中部

「明治村だより」第76号発行のお知らせ
発行時期 平成26年7月中旬(予定)
申込方法 「明治村だより」第76号ご希望の旨及びご住所・お名前を明記の上、送料140円切手とともに封書にてお申し込み下さい。



CONTENTS

- 現在に生かす 記録された災害救護…………… 2
- 熊谷八十三の日記に描かれた坐漁荘…………… 6
- わが町の建築物語…………… 7
- 春の催しもの…………… 8
- A La Meiji-mura…………… 10



現在に生かす 記録された 災害救護

博物館明治村は明治十年から昭和十六年までの日本赤十字社旧蔵の文書約二千点を所蔵しています。その中には、濃尾震災を機に、日本赤十字社の活動の一つと位置付けられた「災害救護」の記録も数多く収められています。今回はこれら災害救護の記録を紐解くことで、その記録からのメッセージを読み取り、今後の私たちの災害への備えの一助となることを希望します。

明治十年に設立された「博愛社」が、明治二十(一八八七)年「日本赤十字社」と改名し、戦時救護のみがその活動とされました。しかし、明治二十一(一八八八)年の磐梯山噴火、明治二十三(一八九〇)年のトルコ軍艦エルトゥールル号沈没、翌二十四(一八九一)年の濃尾震災など立て続けに大きな事故や災害が起きました。

明治二十四年十月二十八日午前六時三十七分、岐阜県西濃を震源としてマグニチュード八を越す激しい揺れの濃尾震災が発生しました。現在のように情報伝達手段が発達していなかった当時ですが、被災地からの甚大な被害の連絡を受けた日本赤十字社の社長佐野常民は明治天皇妃(後の昭憲皇太后)のもとを訪ね、日本赤十字社として災害救護活動を行いたいと申し出たところ、妃は深刻な被災地の状況に哀憐の意を表され、災害救護の御詔旨を出されました。

現地からの救護員の派遣要請、
そして現地到着まで

「地方医士不足ヲ告ク 救護ノ為メ 医員数名派遣ヲ乞フ」(十月二十八日二十二時三分 愛知県支部発)

この電報の原資料は残されていませんが、日本赤十字社本社へ宛てられた電報を転記したものです。そして第二報として岐阜県支部から翌二十九日二十三時二十分に発信されました。岐阜県の被害が酷く、救護を依頼する電報を発信することすらできなかったのではないかと推察できます。

このような電報が届くやいなや、愛知・岐阜へ派遣される救護員が組織されます。愛知へは医師(二等助手医員)の岩井禎三・小宮山権六、看護婦の斉木トヨ・中嶋クニ・大越タマ・竹中末、岐阜は事務員の小板忠重、医師(三等助手医員)の宮岡計山・小山善・大森英太郎、看護婦の徳弘トラ・千種ヤオ・皆吉チカ・貞末マキ・川勝スエ・土田タメの計十六名が被災地へ派遣されました。

「九時 岡崎マデ通ズル筈 夫レニテ立ツ」(十月三十日午前七時二十分 浜松)

ことから、家屋の倒壊や橋梁の陥落が各所でみられ、救護員の行く手を阻んでいることが読み取れます。(写真2-5、次ページ写真6、図1-2)

「知事ニ逢ツタ 大野郡六村[※]負傷者六十名受持ツ事ニシタ 今カラ皆ユク 大垣ヨリ二里先ノヨシ」(十月三十一日午前七時二十分発 愛知県)

※大野郡六村に呂久村は現在の瑞穂市
救護活動は、日本赤十字社だけではなく、東京大

「今朝医師属官ト共ニ羽栗郡[※]北方地方へ出張ス 委細彼ノ地ヨリ報ズ 被害ノ惨状名状シ難シ」(十月三十一日午前七時二十分 愛知県)

※羽栗郡は現在の一宮市
「途中困難 今二人先着 直グ知事へ行ク 委細後ヨリ」(十月三十一日午後三時四十五分発)

と、現地に入つての第一報を伝えています。「名状シ難シ」と表現され、さらに「途中困難」とある

救護員の医師や看護婦は東京の日本赤十字社本社から派遣されました。しかし、明治二十二年に全通した東海道線が地震の影響で不通になってしまいました。浜松、岡崎など被災地にあと一步というところで、足止めをくらってしまいます。(写真1)

被災地を目の当たりにして

学や他地域の大病院から派遣された医師や看護師が、県庁の指示で地域を分担し、救護にあたりました。岐阜県へ派遣された日本赤十字社救護員は大野郡六村（＝呂久村（現在の岐阜県瑞穂市））にまず出向きます。

一方、愛知へ派遣された救護員は

「俄二様様替 ニワグンコウリ村ニ出張仮病院設置 中 挫傷骨傷多シ」(十月三十一日午後九時四十六分発 愛知県

とあることから、丹羽郡小折村（現在の愛知県江南市）に拠点を構え、早速救護活動にあたったことが見て取れます。「挫傷骨傷多シ」と書かれていることから倒壊した家屋が原因の怪我人が多数であったと推測されます。(写真7～10)

救護活動は、地域の医療体制が復旧するまでの約一ヶ月にわたり続けられ、延べ一万人を超える被災者の治療にあたりました。

この日本赤十字社の活動に対して、皇后陛下が「御満足」なされたとの礼状が皇后宮大夫香川敬三から社長の佐野常民に贈られました。

当時ドイツに戻っていたアレキサンダー・シーボルトが、濃尾震災の報を聞き、ドイツでの義捐金を募るため日本美術展を開催し、その収益金を日本の被災地へ送った旨が記載されているシーボルト自筆

の書簡も遺されています。アレキサンダー・シーボルトは幕末に長崎に滞在していたオランダ商館付き医員フィリップ・シーボルトの長男で、明治政府に約四十年間にわたり奉職し、ウィーン万国博覧会や博愛社設立に寄与した人物です。

百二十年あまり前から、すでに人々の被災地への支援が世界に広がっていたことがわかります。

* * *
手書された文書を読むことは、地味で時間のかかる作業です。しかし、先人達の遺してくれた記録を読み活用することは、私たちのこれから歩む道を示してくれるのではないでしょうか。

写真の出典

「明治二十四年 濃尾大震災写真帖」(一九三二(財)警察協会愛知支部)

文書・図の出典

「愛知岐阜震災一件 明治二十四年(一～四)」
「愛知岐阜震災救護報告 天災二十五年」

現在に生かす
記録された災害救護

3月1日(土)～6月1日(日)

会場：三重県庁舎1階

熊谷八十三の日記に 描かれた坐漁荘

国立国会図書館憲政資料室には西園寺公望の執事であった熊谷八十三の明治二十一年から昭和四十年までの日記九十冊が収蔵されています。

熊谷は明治七（一八七四）年東京に生まれ、東京帝国大学農科大学卒業後、愛知県立農業学校、東京府立園芸学校の教員を経て、静岡県興津にあった農業試験場技師、園芸試験場長となりました。しかし関東大震災後の国家財政窮乏のありを受け、大正十三年十一月退職。翌月西園寺公望の別荘である興津坐漁荘の執事となりました。

熊谷は農商務省の技師として、東京市長尾崎行雄がワシントン・ポトマック河畔に送る桜の苗木の品種改良に貢献したことも知られています。

この頁では熊谷の日記に描かれた、興津坐漁荘の様子を紹介します。

徹底日誌

大正13（1924）年

- 11月24日 午後伊藤公爵^{※1}来訪西園寺公二相談シテ僕ヲ西園寺家ノ高等三大夫トシ月給150 仕事ハ陶庵公^{※2}ノ御手伝住宅ハ独楽荘^{※3}ノ上テ両公共ヲ太公望^{※4}ノ事 随分ト之ハ考ヘサセラレル問題ナリ 従来ノ僕ヲ全然捨テ去リテ誠実ニ両公ニ勤ムル事ハ僕ニハ出来ヌ事デモナシ 西園寺公行脚ノ後ハ伊藤公ガ又何トカ考ヘテヤルト云フ事ナリ 好意ハ全ク難キ事ナルモ 僕ノ一存ニモ決シ難ク石原ニ相談センガ為メニ電報デ石原ノ明晩ノ在否ヲ問フ 返電ニ曰ハク差支ナシ
- 12月31日 西公邸^{※4}ニStandard社ノoil heaterヲ勸メテ買ハセル



生憎ク甚暖カキ日ナリ
大正14（1925）年
4月9日 西公邸ハ大工トブリキ屋ヲ招キ二階下天井ネズミ防ギノ見積リ

心閑録

大正15（1926）年

3月26日 園公邸^{※5}ハ昨年未渡辺千冬子^{※6}ノ撰ノコトデ坐漁荘ト云フ名ガ出来タ 今度之ヲ扁額トシテ玄閣屋下ニ掛ケルコトナッタ 篆字ヲ書イタノハ高田忠周^{※7}氏

3月28日 坐漁荘ノ扁額ヲ玄閣前ニ掲ゲル大工萬吉ノ手際余リ良好ナラス

大典録

昭和4（1929）年

- 2月22日 井戸ノ掘リ下ゲモ完成水量増加シタトノ事 地上権設定契約登記成ル 下駄屋小沢モ喜ブ 夜湯川寛吉^{※8}氏来ル 水口屋テ面会 両側者決定ノ上、東側地モ再応申シ出テ来タラ一万二千円位ナラバ買フベシ
- 3月3日 坐漁荘控所前ノ庭ノ引越シ
- 3月11日 坐漁荘庭樹仮移植始メ
- 3月16日 不在中浜ノ移転建築ハ既ニ壁塗りニ及ンデ居ル
- 3月19日 園公爵鳩居堂^{※9}ニ命ジテ小瓢ノ箱ヲ造ラセタルヲ拝見ス
- 3月22日 坐漁荘庭樹移植進捗、大樹ヲ移植スルニchain blockヤcapstanヲ利用スル事多ク且可ナリニ巧ナルニ感心ス
- 5月2日 静岡、佐倉組佐倉住吉井上公邸^{※10}ヲ曳イタ者 之ガ園家坐漁荘ノ曳方ヲ見積モリテ1、398円 壁ヲ落トサヌ様ニ丁寧ニ曳ク 土台固メスル間ニ三週間ハ一尺ホド上ゲテ其仮ニ保タセテ置クモノナリ
- 5月7日 静岡ノ佐倉組見積ガ高クテ落第
- 5月27日 坐漁荘ニ行ク別荘ハ既ニ持チ上ゲテ曳キ方ノ準備整フ
- 6月16日 坐漁荘曳キ方ニ掛リ西方ニ二間移動
- 8月10日 浴室ノ電灯被早クニ破損シタ俣ナリシヲ此頃漸ク取り替ヘガラス屋デパテ附ケテ来タノガ面白クナイカラ石膏デ附ケ直ス初メハ水ノ交ゼ方ガワカラヌノデヤリソコナヒ第二回成功

- 8月15日 住友建築監督ノ柏村氏佐野屋ニ泊レルモノモ呼ンデ共ニウナル
- 8月31日 園家普請デ中野^{※11}氏ニ聞ク 駿河台邸内ニ在リタル樟及ビ公孫樹巨木大震災ノ時ニ焼ケテ伐採セルモノヲ使用ス 小生ノ控室玄閣ノ上リ板ガ公孫樹 同便所隅板ガ樟之ニハ焼面ヲ現ハス 母屋内玄閣上リ板も樟ナリ 尚京都田中ニ在リタル板材幅二尺長サ約三間ハ大工棟梁前川ノ鑑定デハ三宅島ノ桑ナリトノ事
- 9月6日 西園寺家建増シノmain part ノ上棟ヲ行フ 職人及近所組合ヘノ祝儀ハ住友カラ出テ 園家トシテ職人頭領分6 其他33ヘ3円ト 二円近所組合12 圃場ノ両隣世話人借家ノ地主計6ヘ 鮎折詰(◎・50) 全部酒ニ合壇一本猪口添、●費用約130円 石原ガ庫蔵建築ノ上棟ノ時ハ餅撒キヤ五錢十錢ヲ紙ニ包ンデ撒イタ由
- 9月12日 普請増築出窓ノ下ノ台石三個ヲ撤ヘルニ相当ノ苦心ヲ払ヒ ●ニアルヲ見ル 浴室ノ天井ノ竹ヲ附ケルノガ一人一日、一尺ダケヨリ出来ヌ 九尺ガ両側デ十八人ヲ要ス 一人ノ手間ガ三円ダカラ此天井ダケデ五十四円 材料ハ別
- 10月31日 中野愛之助氏ニ聞ク 今度ノ普請洋室ノ分ハ予算ハ 坪七百円ト見テアルガ少々超過 他ノ便所浴室等ノ新築ハ小ナルダケニ却ツテ面倒デ坪千円位ニナツテ居ル 僕ノ控室ノ方ハ坪二百円ト思ツテ居タガ夫ハ少々超過シタラシキ(？)モ
- 11月3日 坐漁荘ヘ京都庭師小川治兵衛^{※12}来タル 庭園設計ノ為ナリ
- 11月12日 今日カラ京都小川治兵衛ノ番頭来テ庭樹植工初メ 能イ稽古ニナルベシ
- 11月20日 普請ハ今日大体ノ片ガ付ク 跡ノ整理ハマダ当分ノ事 庭モ余程進捗
- 11月21日 西園寺公爵特急デ京都カラ帰還サル 普請完了大体ニ於テ御気ニ叶フ

※1 伊藤公爵：伊藤博邦（一八七〇～一九三三）。博邦は井上馨の兄の四男で、伊藤博文の娘婿。
 ※2 陶庵：西園寺公望の雅号。由来は定かではないが、西園寺が「陶綾」の旧名を、持つ大磯で庵を構えていたことと言われている。
 ※3 独楽荘：伊藤博邦が大正七年ごろ興津に建てた別荘。
 ※4 西公邸：坐漁荘のこと。
 ※5 園公邸：坐漁荘のこと。
 ※6 渡辺千冬：渡辺千冬子爵（一八七六一～一九四〇）。貴族院議員、司法大臣。
 ※7 高田忠周：（一八六一～一九四〇）。書家、漢学者。
 ※8 湯川寛吉：（一八六八～一九三三）。現在の和歌山県新宮市出身。東京帝国大学を卒業後通信省を経て、住友へ入社。大正四（一九二五）年、住友第五代目総理事となる。
 ※9 鳩居堂：十七世紀後半に京都で創業した文房四宝などを扱う商店。西園寺公望は文机や文房具、煎茶具など鳩居堂を通して購入していた記録が残されている。
 ※10 井上公邸：長者荘。当時住んでいたのは井上勝之助（一八六一～一九二九）。勝之助は井上馨の兄の二男。
 ※11 中野：中野愛之助のこと。住友本店臨時建築部の営繕技師。
 ※12 小川治兵衛：七代目小川治兵衛（一八六〇～一九三三）。京都の作庭家。山県有朋の無隣庵、住友春翠の廣沢園、西園寺公望の清風荘などの庭を作庭。

3月15日からの 毎週土日祝はイベント盛りだくさん!

現代の奇術師、明治村に現る!

マジックショー

重要文化財「呉服座」を舞台に、現代の奇術師がトランプや剣、コインなどを使って、歴代奇想天をしのぐマジックを披露します。

- 開催日：3月15日(土)～6月1日(日)の土日祝
- 会場：呉服座
- 時間：①12:30～②14:30～
- 料金：300円
- 出演者：DAIKIほか

明治ハイカラ大道芸

ジャグリングやバントマイム、皿回しなど盛りだくさんのパフォーマンスで、皆様を笑いの渦に巻き込みます。

- 開催日：3月15日(土)～6月1日(日)の土日祝
- 会場：札幌電話交換局前(雨天時は帝国ホテル中央玄関)
- 時間：①11:30～②13:30～
- 出演者：プレジャーB

春の占い体験館

姓名判断やタロット、四柱推命など、本物の占い師がアナタの運勢や相性を鑑定します。新しいことが始まる季節に、ぜひ開運の術を伝授してもらいましょう。

- 開催日：3月15日(土)～6月1日(日)の土日祝
- 会場：東山梨郡役所
- 時間：10:00～12:00、13:00～16:00
- 料金：お1人様1回 1,000円
- 出演者：名古屋占いカフェ、占いのオズ、愛真舎、東洋易学協議会

奇術師たちのグルメ

「明治探検隊」をイメージした期間限定グルメです。



シークレットオムライス 探検隊の宝箱 第二章 イリュージョンデザートプレート

空からの明治村ってどんなだろう?

熱気球体験

日本では明治時代に始めて使用された熱気球に乗っていただき、上空からの明治村をお楽しみいただけます。

※気象条件等により体験搭乗を見合わせる場合があります。

- 開催日：4月26日(土)～29日(火・祝)
- 会場：食道楽のカフェ横芝生広場
- 時間：10:00～12:00、13:00～16:00
- 料金：小学生以上 700円



熱気球体験の様子

きもので歩く春の明治村

3月1日(土)～4月6日(日)

期間中、和服でご来村の方は入村料を半額にいたします。

きもの着付け体験

- 開催日：3月21日(金・祝)～4月6日(日)の土日祝
- 会場：学習院長官舎 ※荒天中止、女性限定
- 時間：10:00～15:30
- 料金：1,000円(90分)
- 協力：(財)民族衣裳文化普及協会

きものde 記念撮影

美しい景色を背景にプロのカメラマンが無料で撮影を行います。

- 開催日：4月5日(土)、6日(日)
- 会場：西郷従道邸2階バルコニー
- 時間：11:00～15:00
- 対象：きもの姿の方
- 料金：300円



春の明治村を素敵なきもので散策してみませんか?

この春で1周年! 明治体験処ハイカラ衣装館
オープン1周年を記念し、新デザインのドレスを追加します。※4月中旬予定

ハイカラ似顔絵師も登場!

- 会場：レンガ通り
- 料金：白黒800円～

「学び」を楽しむ明治村

現在に生かす 記録された災害救護

3月1日(土)～6月1日(日)
会場：三重県庁舎1階

2-5pの特集で紹介しています

科学技術週間関連事業「機械館ガイド・スペシャル」

近代化遺産の宝庫ともいえる鉄道新橋工場・機械館内に展示されている機械を、より深くご案内します。

- 開催日：4月20日(日)
- 協力：博物館明治村ボランティア会
- 会場：鉄道新橋工場・機械館
- 時間：①11:00～②14:00～(各回約45分)



春のウェディングフェア

1世紀以上の歴史を刻み続ける本物の教会で模擬挙式や引き出物展示などを行います。

- 開催日：4月13日(日)
- 会場：聖ザビエル天主堂ほか
- お問合せ先：明治村プライダルデスク TEL (0120) 78-2205

春の茶席

緑風茶席

春の日本庭園でのお茶席です。

- 開催日：4月26日(土)～5月6日(火・休)の土日祝 ※雨天中止
- 会場：日本庭園
- 時間：10:30～(菓子が無くなり次第終了)
- 料金：一服600円



茶席「亦楽庵」特別公開と茶道体験

修理工事を終えた亦楽庵の内部を特別公開します。また、茶道体験ではお茶の経験のない方でも気軽にご参加いただけるようレクチャーいたします。

- 開催日：5月10日(土)～6月1日(日)の土日祝
- 会場：茶席「亦楽庵」
- 時間：①11:30 ②12:30 ③13:30 ④14:30
- 定員：各回10名 料金：1,000円(抹茶と特製和菓子付)

西園寺公望別邸「坐漁荘」特別公開

平成24年5月から修理工事を行っていた西園寺公望別邸「坐漁荘」を一般公開します。

- 期間：4月22日(火)～27日(日)
- 公開時間：11:00～15:00

※建物保護のため、見学人数を制限させていただく場合があります。
※4/28(月)からは、通常の建物ガイドでの見学となります。ガイド開始時間はHPでご確認ください。



明治村茶会

事前予約制・有料

明治村の建築物を利用した、開かれたお茶会です。どなたでもお気軽にご参加いただけます。

- 開催日：4月18日(金)、19日(土)
- 参加費：15,000円(入村料込)(茶席3席・模擬店・点心付)
- ☎ 電話にてお申込みください。(締切4月4日) 電話受付 9:30～17:00

- 席主 / ●坐漁荘席(濃茶)・鈴木与平氏
●学習院長官舎席(薄茶)・膳所焼美術館
●野点席・淡交会愛知第1、第2、第3青年部

春のおすすめグルメ&スイーツ

帝国ホテルライト館90周年を記念したグルメや、春ならではの食材を使用したスイーツなどをご提供いたします。
3月1日(土)～6月29日(日)



ライト館90周年記念サンド



春キャベツと三元豚の味噌焼きたまご



五福屋乃串かつ



春のなかせんみつ



春のアイスクリームサンデー

お問い合わせ・申込先

<http://www.meijimura.com/> または ☎0568-67-0314

※催事内容は予告無く変更・中止する場合がございます。詳しくはお電話でお問合せいただくか明治村公式HPをご覧ください。

